

| カテゴリ | 非該当 | チェック項目 | 取組レベル | 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-----|---|-------|---|------------------------------|---|-----|---|---|---|-----|------------|---|----|----|------|------|----|----|----|------------|
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | ・ | 【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している | チャレンジ | ISO14001を取得している。 | | | 3.9 | | | 6 | 7 | | | | | 12 | 13.3 | 14 | 15 | | |
| 19 | ・ | 【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している | チャレンジ | 【予定】 環境方針をHPで公開している。 | | | | | | | | | | | | 12.6 | | | | | |
| 20 | ・ | 【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる | チャレンジ | 太陽光発電事業に向け、準備中。 (申請済み) | | | | | | | 7.2 | | | | | | 13 | | | | |
| 21 | ・ | 【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる | チャレンジ | FSC認証を受けた紙を使用している。 | | | | | | | | | | | | 12.2 | 13 | 14 | 15 | | |
| 22 | ・ | 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している | 基本 | サステナビリティ方針にコンプライアンス条項(腐敗の防止)を整備し社内浸透を図っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 16.5 |
| 23 | ・ | 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している | 基本 | サステナビリティ方針にコンプライアンス条項(競争法の遵守)を整備し社内浸透を図っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| 24 | ・ | 【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる | 基本 | 特許委員会を設置し、取得管理を行っている。またサステナビリティ方針にコンプライアンス条項(知的財産の保護)を整備し社内浸透を図っている。 | | | | | | | | 8.2 8.3 | 9 | | | | | | | | |
| 25 | ・ | 【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している | 基本 | サステナビリティ方針にコンプライアンス条項(機密情報の管理保護)を整備し社内浸透を図っている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| 26 | ・ | 【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している | チャレンジ | 原材料サプライチェーンの紛争鉱物の不使用を確認している。 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| 27 | ・ | 【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる | チャレンジ | 毎年経営者が取引先を訪問し、課題認識を共有すると共に、企業のあり方について対話を行っている。 | | | | | 5 | | | 8 | | 10 | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 28 | ・ | 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | 基本 | ISO9001を取得し、QC工程表に基づくものづくりの仕組みを構築している。 【予定】IATF16949を取得する。 | | | 3.9 | | | | | | | | | 12.4 | | | | | |
| 29 | ・ | 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している | 基本 | ISO9001を取得し、QC工程表に基づくものづくりの仕組みを構築している。 【予定】IATF16949を取得する。 | | | | | | | | | 9 | | | | | | | | |
| 30 | ・ | 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる | チャレンジ | 試作段階で、自動車メーカーに対し、環境に配慮した軽量化、材質等の提案を行っている それらを踏まえ、量産部品の開発、設計をメーカーが実施している。 | | | | | | 6 | | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | | |
| 31 | ・ | 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる | チャレンジ | 自動車メーカーが取り組む「安全な車づくり」「自動運転」「電動化」等のテーマに沿って、製品の製造を行っている中で、MaaSの一端を担う電気自動車用の部品の開発、量産を推進している。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）